

ディープラーニングに誘うアクティブ・ラーニングの手法 ー物理、化学の実践例よりー

■講師



立川 明(高知大学 大学教育創造センター 准教授)

S62 年高知大学理学部卒。H10 年九州大学にて博士(工博)の学位取得。H2 年より高知大学理学部化学科助手。計算化学と情報処理の教科書執筆。H16 年より大学教育創造センター准教授。

参加型授業の開発, 担当。実践をふまえたアクティブ・ラーニングに関する FD 研修講師を学内外で多数担当。アクティブ・ラーニングの成果をまとめた Tips 執筆。

■プログラム概要

口頭で教える方法で, 学生は実力を付けていますか? 期末試験で良い成績をとれるのは, 一夜漬けのおかげだったりしませんか? その知識, 次の年度の授業ではもう忘れていませんか?

長く記憶に残る知識になるためには理解を伴うこと, アウトプットの機会があること, 反復の機会があることが重要です。

この研修では, 高知大学で行っている化学の授業, 産能大学小林先生の行っている物理の授業を例にアウトプットを中心にした授業方法を紹介し, ディープラーニングに誘うための参加型授業に必要な要素を紹介します。以下の順序で進める予定です。

1. 初回の授業で何をすべきか
2. 授業の組み立てはどのようにすべきか
3. 試験紙法を体験する
4. 教員が注意すべき事は何か

参考: 高知大学発行 Tips5, 小林昭文著「アクティブラーニング入門」(産業能率大学出版部)

■主な受講対象

講義型授業に限界を感じている方, 授業方法をアクティブ・ラーニングに変えたい方, 授業中の居眠りや内職をやめさせたい方, 学生の成績を上げたい方, 時間外学習を増やしたい方, 教科教育でキャリア支援を同時に実現したい方。

■本プログラムの到達目標

1. アクティブ・ラーニングのための場づくりができる。
2. 失敗しないアクティブ・ラーニングの要素が言える。
3. 試験紙法とは何か同僚に説明できる。

■日時・会場

日時: 平成28年8月25日(木) 13:00~15:00

会場: 愛媛大学城北キャンパス